

東京計器株式会社

証券コード：7721

2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

2024年2月9日（金）

本説明資料に記載された将来に係る事項は公表時点で入手可能な情報を踏まえて弊社経営陣が想定したものです。従って、今後の事業環境等により差異が生じることもありますので、ご承知置きください。

決算発表のポイント

2024年3月期 第3四半期実績

- ◆ 前年同期比で増収、増益。
 - 船舶港湾機器事業が好調を継続したことが貢献。
- ◆ 防衛・通信機器事業の受注高が当四半期も引き続き増加したことから、**全体の受注残高は過去最高値を更新。**

2024年3月期 通期見通し

- ◆ 第3四半期実績及び今後の事業動向を勘案し、2023年11月10日に公表した業績予想から利益を上方修正。
- ◆ 年間配当は、期初予定通り普通配当を2.5円増配し、32.5円を予定。

資料の内容

1. 2024年3月期第3四半期 決算概要
2. 2024年3月期 通期見通し
3. トピックス

〈ご参考資料〉

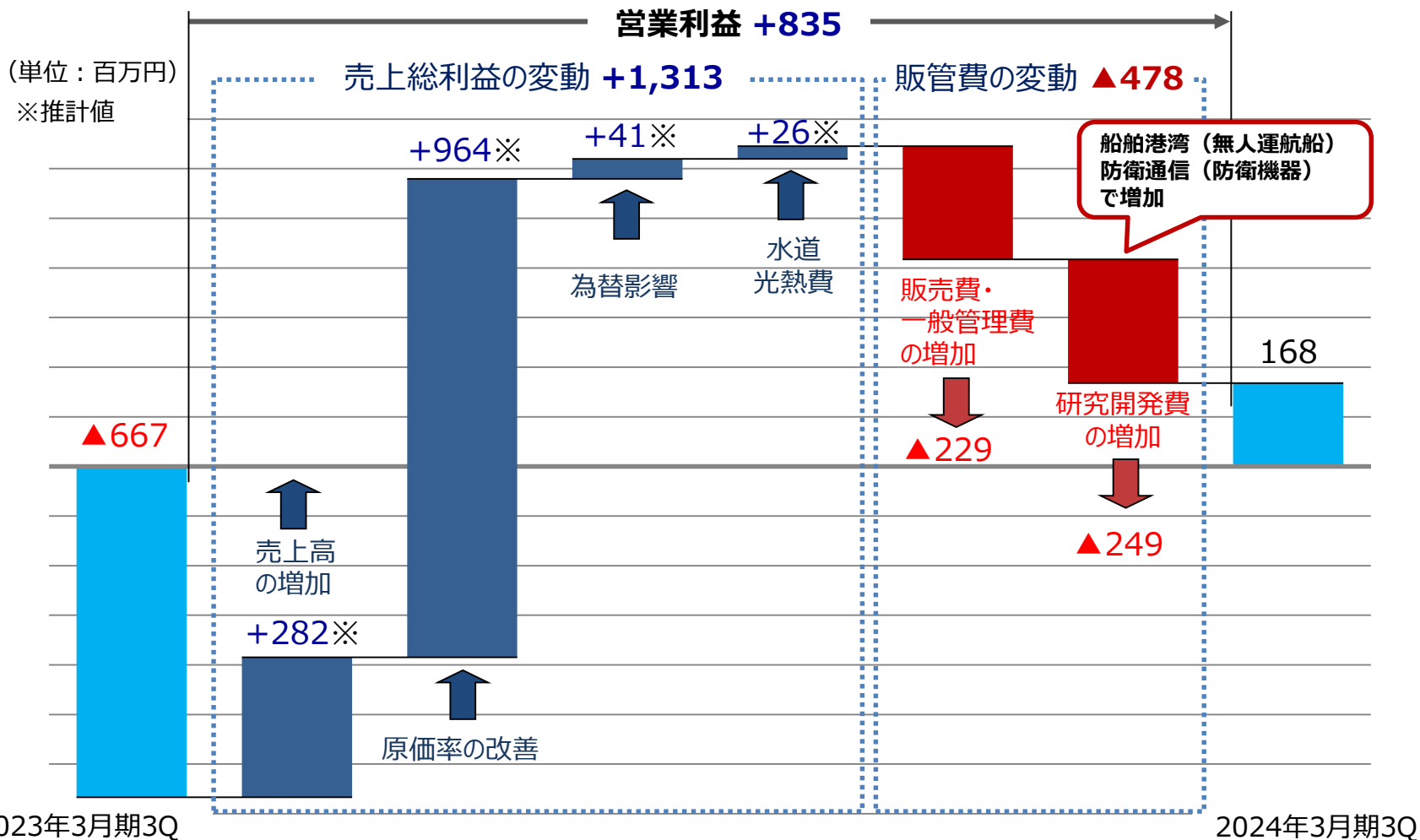
売上高・損益

◆ 船舶港湾機器事業の増収・増益が貢献し、全体として増収・増益。

(単位：百万円)	2023年3月期 3Q	2024年3月期 3Q	増減額	増減率
売上高	29,419	30,704	+1,285	+4.4%
営業利益	▲667	168	+835	—
経常利益	▲281	346	+627	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲179	118	+296	—

営業利益増減

- ◆ 販管費における人件費、旅費交通費及び研究開発費の増加分を、売上高の増加、原価率の改善及び為替の円安影響によりカバーし、黒字転換。



セグメント別売上高・営業利益

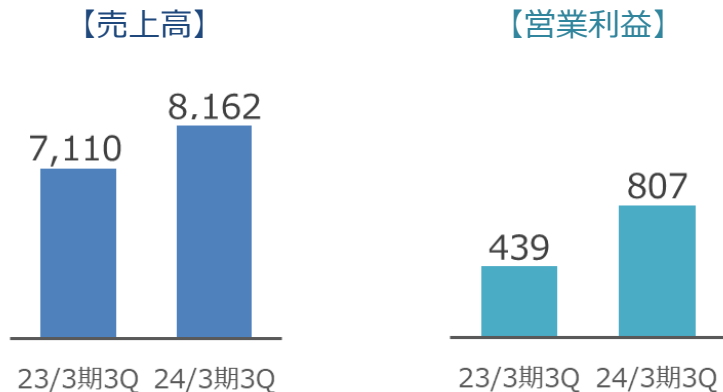
- ◆ 船舶港湾機器事業は、海外市場及び保守サービスの需要が増加し、加えて円安による為替影響により増収・増益。
- ◆ 油空圧機器事業は、販売価格の適正化による利益確保の取り組みが進展したこと等から、営業黒字に転換。
- ◆ 防衛・通信機器事業は、前年同期までにあった海上保安庁向けVTSシステムの納入がなかったことや、研究開発費の増加により、減収及び営業損失が拡大。

(単位： 百万円)	売上高				営業利益			
	2023年3月期 3Q	2024年3月期 3Q	増減額	増減率	2023年3月期 3Q	2024年3月期 3Q	増減額	増減率
船舶港湾	7,110	8,162	+1,052	+14.8%	439	807	+367	+83.7%
油空圧	8,526	8,497	▲29	▲0.3%	▲259	78	+337	—
流体	2,390	2,690	+300	+12.6%	▲61	62	+123	—
防衛・通信	9,221	9,089	▲132	▲1.4%	▲734	▲863	▲128	—
その他	2,170	2,266	+96	+4.4%	20	149	+129	+655.9%
合計	29,419	30,704	+1,285	+4.4%	▲667	168	+835	—

※セグメントの売上高、営業利益は調整前。

セグメント別売上高・営業利益

船舶港湾

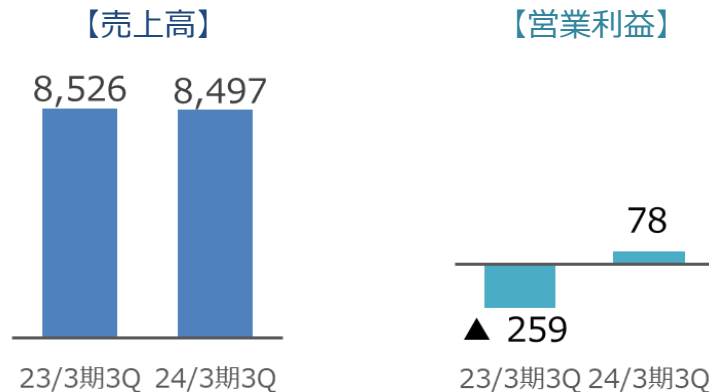


単位：百万円	23/3期3Q	24/3期3Q	増減額	増減率
売上高	7,110	8,162	+1,052	+14.8%
営業利益	439	807	+367	+83.7%

【前年同期比 増収・増益】

- 上期に引き続き、海外市場において、東アジアでの新造船向けや欧米での在来船向け機器が増加したこと、保守サービスが順調に推移したことに加え、為替が円安に進展したことから、増収。
- 売上高の増加や円安効果もあり、大幅な増益。

油空圧



単位：百万円	23/3期3Q	24/3期3Q	増減額	増減率
売上高	8,526	8,497	▲29	▲0.3%
営業利益	▲259	78	+337	-

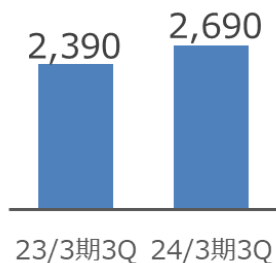
【前年同期比 減収・増益】

- 建設機械市場においては堅調に推移したものの、中国の景気低迷の影響を受け、プラスチック加工機械市場、工作機械市場、海外市場においては減少したことから、僅かに下回った。
- 販売価格の適正化による利益確保の取り組みが進展したこと等から黒字転換。

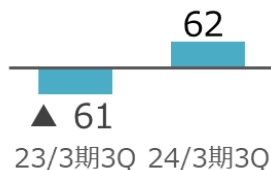
セグメント別売上高・営業利益

流体

【売上高】



【営業利益】



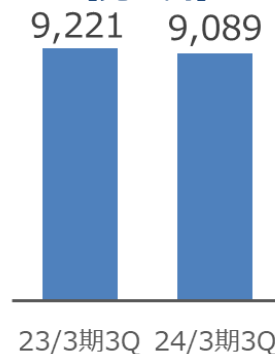
単位：百万円	23/3期3Q	24/3期3Q	増減額	増減率
売上高	2,390	2,690	+300	+12.6%
営業利益	▲61	62	+123	-

【前年同期比 増収・増益】

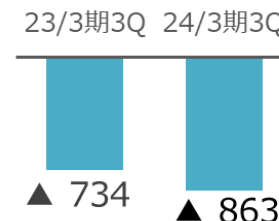
- 官需市場、民需市場はいずれも堅調に推移。また、消火設備市場は「ガス系消火設備の容器弁の安全性に係る点検」に基づく部品販売及び交換工事が好調に推移したことから、増収。
- 売上高増加に加え、製品構成の変化により原価率が改善したため、黒字転換。
- 事業の特性上、売上が第4四半期に集中するため、第3四半期は営業利益が少額または営業損失となる傾向。

防衛・通信

【売上高】



【営業利益】



単位：百万円	23/3期3Q	24/3期3Q	増減額	増減率
売上高	9,221	9,089	▲132	▲1.4%
営業利益	▲734	▲863	▲128	-

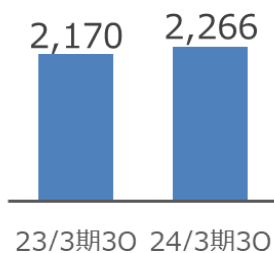
【前年同期比 減収・減益】

- 防衛事業は、艦艇搭載機器は好調であったものの、前年同期にあった海上保安庁向けVTSシステムの納入が当期はなかったため、減収。
- 通信機器事業は、放送局向け機器や加速度計が堅調に推移したことから増収。
- 全体としては、防衛事業の減少を補えず減収。
- 売上高の減少に加え、研究開発費の増加により営業損失が拡大。
- 事業の特性上、売上が第4四半期に集中するため、第3四半期までは営業損失となる傾向。

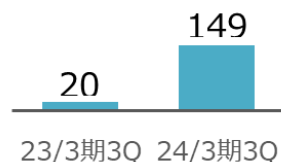
セグメント別売上高・営業利益

その他

【売上高】



【営業利益】



単位：百万円	23/3期3Q	24/3期3Q	増減額	増減率
売上高	2,170	2,266	+96	+4.4%
営業利益	20	149	+129	+655.9%

【前年同期比 増収・増益】

- 鉄道機器事業は、超音波レール探傷車の案件が当期は搭載装置の更新であったことから減収。
- 検査機器事業は販売価格適正化の効果もあり増収。
- この結果、全体としては増収。
- 売上高の増加に加え、販売価格の適正化による原価率の改善により大幅に増益。

受注高・受注残高の状況

- ◆ 防衛・通信機器事業の受注が大幅に増加し、**全体の受注残高は過去最高値を更新。**
 - 船舶港湾 : 国内の商船市場及び内航船市場での受注増加により、受注高・受注残高ともに増加。
 - 油空圧 : プラスチック加工機械市場の需要は低調に推移したものの、油圧応用装置で大型案件を受注したため、受注高は前年同期並み。受注残高は客先の先行手配により増加。
 - 流体 : 官需市場において大型案件が減少したものの、消火設備市場において点検作業の需要は好調に推移したことにより受注高・受注残高ともに前年同期並みの水準を確保。
 - 防衛・通信 : 防衛予算の増加により次年度以降納入の航空機搭載機器及び艦艇搭載機器等の需要が大幅に増加し、**受注高・受注残高ともに過去最高値を更新。**
 - その他 : 鉄道機器事業、検査機器市場共に好調に推移し、受注高・受注残高ともに増加。

(単位: 百万円)	受注高				受注残高						
	23年 3月期 3Q	24年 3月期 3Q	前年同期比		23年 3月期 3Q	24年 3月期 3Q	前年同期比		前年度末	前年度末比	
			増減額	増減率			増減額	増減率		増減額	増減率
船舶港湾	7,680	8,188	+508	+6.6%	3,919	4,190	+272	+6.9%	4,164	+26	+0.6%
油空圧	8,689	8,696	+7	+0.1%	3,424	3,638	+214	+6.3%	3,439	+199	+5.8%
流体	3,888	3,803	▲85	▲2.2%	2,650	2,705	+55	+2.1%	1,593	+1,112	+69.8%
防衛・通信	9,943	19,374	+9,431	+94.9%	17,497	32,555	+15,058	+86.1%	22,269	+10,286	+46.2%
その他	2,835	3,190	+355	+12.5%	2,179	2,424	+245	+11.2%	1,550	+874	+56.4%
合計	33,035	43,251	+10,216	+30.9%	29,668	45,512	+15,844	+53.4%	33,015	+12,497	+37.9%

貸借対照表

- ◆ 防衛事業における受注増に対応するための仕入の増加、及び原材料価格の高止まり等により、棚卸資産が増加。
- ◆ 受注の大幅増加による運転資金の増加に対応するため借入を実施し、長期借入金が増加。
- ◆ 自己資本比率は、前期末比4.8ポイント減少したものの53.3%となり、引き続き財務健全性を維持。

(資産の部)

(負債・純資産の部)

単位：百万円	2023年 3月期	2024年 3月期3Q	増減	単位：百万円	2023年 3月期	2024年 3月期3Q	増減
流動資産	44,814	48,197	+3,383	流動負債	21,385	22,117	+731
現金預金	8,710	8,994	+284	支払手形・買掛金	6,824	8,057	+1,233
受取手形・売掛金	13,783	9,918	▲3,865	短期借入金	9,951	10,020	+70
電子記録債権	3,598	3,611	+12	賞与引当金	1,145	609	▲535
棚卸資産	18,153	24,421	+6,268	固定負債	1,787	6,469	+4,682
未収入金	269	699	+430	長期借入金	—	4,793	+4,793
その他	302	556	+254	負債合計	23,172	28,585	+5,413
固定資産	11,809	14,084	+2,275	株主資本	31,104	30,747	▲358
有形固定資産	5,458	6,820	+1,362	利益剰余金	24,532	24,164	▲368
無形固定資産	137	184	+48	その他の包括利益累計額	1,822	2,465	+644
投資有価証券	3,440	3,151	▲289	純資産合計	33,451	33,696	+245
資産合計	56,624	62,281	+5,658	負債純資産合計	56,624	62,281	+5,658

資料の内容

1. 2024年3月期第3四半期 決算概要
2. 2024年3月期 通期見通し
3. トピックス

〈ご参考資料〉

外部環境リスクの状況

	発生事象	対象事業	対応	影響度
部品入手難及び 原材料価格、 エネルギー価格 の高騰	<ul style="list-style-type: none"> 半導体を中心とした電子部品の長納期化。 原材料価格の高止まり。 	✓ 全事業	<ul style="list-style-type: none"> 先行手配等により、部品の確保に努める。必要に応じて納入時期の調整。 顧客と販売価格の適正化交渉を継続。 	中
	<ul style="list-style-type: none"> 客先予算の圧迫による契約案件の先延ばし、取りやめ。 	✓ 流体	<ul style="list-style-type: none"> 契約案件のモニタリングを強化し、他案件での挽回。 	高
為替	<ul style="list-style-type: none"> 円安傾向の継続。 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 船舶港湾 (+) ✓ 油空圧 (-) 	<ul style="list-style-type: none"> 3Q実績 : 143円/\$ 4Q : 140円/\$ 購入部品の値上りに警戒。 	中
米中貿易摩擦	<ul style="list-style-type: none"> 希少金属への輸出規制の導入による電子部品の調達難。 	✓ 防衛・通信	<ul style="list-style-type: none"> 適宜情報収集。 必要に応じて、先行手配や代替品への切り替えを行う予定。 	現時点では無し。

2024年3月期 業績予想

◆ 第3四半期実績及び今後の事業動向を勘案し、2023年11月10日に公表した業績予想から以下の通り修正。

単位：百万円	前回予想	今回予想	前回予想比		前期実績	前期比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	47,000	46,700	▲300	▲0.6%	44,296	+2,404	+5.4%
営業利益	1,710	2,080	+370	+21.6%	1,312	+768	+58.5%
経常利益	1,860	2,270	+410	+22.0%	1,687	+583	+34.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,290	1,670	+380	+29.5%	873	+797	+91.4%

セグメント別 業績予想（前回予想からの見直し）

- ◆ 船舶港湾機器事業の増収・増益が通期予想にも大きく貢献。
- ◆ 油空圧機器事業は黒字化の見通し。

(単位： 百万円)	売上高					営業利益				
	前回予想	今回予想	前回 予想比	前期実績	前期比	前回予想	今回予想	前回 予想比	前期実績	前期比
			増減額		増減率			増減額		増減率
船舶港湾	10,900	11,100	+200 +18.3%	9,700	+1,400 +14.4%	820	1,000	+180 +22.0%	565	+435 +77.0%
油空圧	11,900	11,500	▲400 ▲3.4%	11,658	▲158 ▲1.4%	90	230	+140 +156.0%	▲268	+498 -
流体	4,700	4,600	▲100 ▲2.1%	4,452	+148 +3.3%	630	610	▲20 ▲3.2%	527	+83 +15.7%
防衛・通信	16,000	16,000	0 0%	14,765	+1,235 +8.4%	20	10	▲10 ▲50.0%	▲94	+104 -
その他	3,500	3,500	0 0%	3,718	▲218 ▲5.9%	260	340	+80 +30.8%	675	▲335 ▲49.6%
合計	47,000	46,700	▲300 ▲0.6%	44,296	+2,404 +5.4%	1,710	2,080	+370 +21.6%	1,312	+768 +58.5%

※セグメントの売上高、営業利益は調整前。

セグメント別 事業の見通し

船舶港湾	<ul style="list-style-type: none">国内外の新造船需要及び保守サービスが、引き続き堅調に推移する見込み。海外市場は、欧米での在来船向けジャイロコンパス等の機器販売が引き続き堅調に推移。
油空圧	<ul style="list-style-type: none">中国を主とした海外需要が減少。ダムゲートなどの油圧応用装置の需要が増加。販売価格の適正化と原価低減に引き続き取り組むことにより利益改善。
流体	<ul style="list-style-type: none">官需市場は、予算の圧迫等による繰り越し案件が顕在化。消火設備市場は、危険物倉庫における大型案件があることや、「ガス系消火設備の容器弁の安全性に係る点検」に基づく部品販売、及び交換工事の需要が好調に推移。
防衛・通信	<ul style="list-style-type: none">防衛事業は、防衛予算の増加により防衛機器の受注が引き続き好調だが、売上は次年度以降を予定。海上交通機器の新規案件が、売上に貢献する見込み。通信機器事業は、農業機械用機器、半導体製造装置用機器、及び宇宙用機器における今期の需要が減少し、下振れ見込み。
その他	<ul style="list-style-type: none">検査機器事業は、引き続き堅調に推移する見込み。鉄道機器事業は、期初予想通り、主力の超音波レール探傷車の納入台数が前期より減少の見込み。

株主還元施策について

【配当方針】

当社は、「東京計器ビジョン2030」の実現による企業価値向上に向け、成長投資を最優先としつつ、財務基盤とのバランスを考慮しながら、最適資本構成を意識した最適な株主還元施策を実施することを基本方針としています。その上で、毎期の配当については、過去の配当実績も勘案し、安定的かつ継続的な株主還元に向けてまいります。

【配当について】

2024年3月期は1株当たり普通配当を2.5円増配し、32.5円を実施する予定です（期初予定通り）。

【株主優待制度（東京計器プレミアム優待倶楽部）】

株主優待条件ならびに繰り越し条件を変更いたしました。

2024年3月末日を基準とする株主優待ポイントの進呈を受けるには、

2023年9月末日及び2024年3月末日の株主名簿に300株以上継続して保有していることが必要です。

※詳しくは、当社ホームページまたは2022年11月28日に公表しました「株主優待制度『東京計器プレミアム優待倶楽部』の株主優待進呈条件、繰越条件の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

【過去5年間の配当金の推移と2024年3月期の予定】

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期 (予定)
年間配当金（円 銭）	25.00	25.00	25.00	25.00 +記念配当5.00	30.00	32.50
配当性向（連結）（%）	21.3	28.8	43.4	32.9	56.4	32.0
総還元性向（連結）（%）	25.6	34.7	43.4	33.0	56.5	—

資料の内容

1. 2024年3月期第3四半期 決算概要
2. 2024年3月期 通期見通し
3. トピックス

<ご参考資料>

トピックス

防衛事業の新工場棟を那須工場内に建設

東京計器株式会社は、那須工場敷地内に2024年12月の竣工を目指し防衛機器生産のための工場棟を建設します。防衛事業における需要増や新たな製品の開発・生産に対応し、生産体制の整備、及び防衛事業に今後必要となる人材の確保に注力していきます。

- 那須工場では長年にわたり、陸海空の自衛隊が保有する航空機や艦艇向けの搭載機器を多数手掛けてきました。
- 昨今の防衛予算増額に伴い、当社の防衛事業の受注は過去にない水準に達しており、那須工場では複数の施設や設備を有効活用しながら現在の旺盛な需要に対応しています。
- 今回、今後の増産体制の強化や新製品の生産を推進するため、新棟の建設を行うことにいたしました。工場建設の投資額は約15億円を見込んでいます。
- 新工場棟は環境に配慮し、高断熱仕様とすることで空調効率を向上させ、温室効果ガス排出量の削減を図ります。

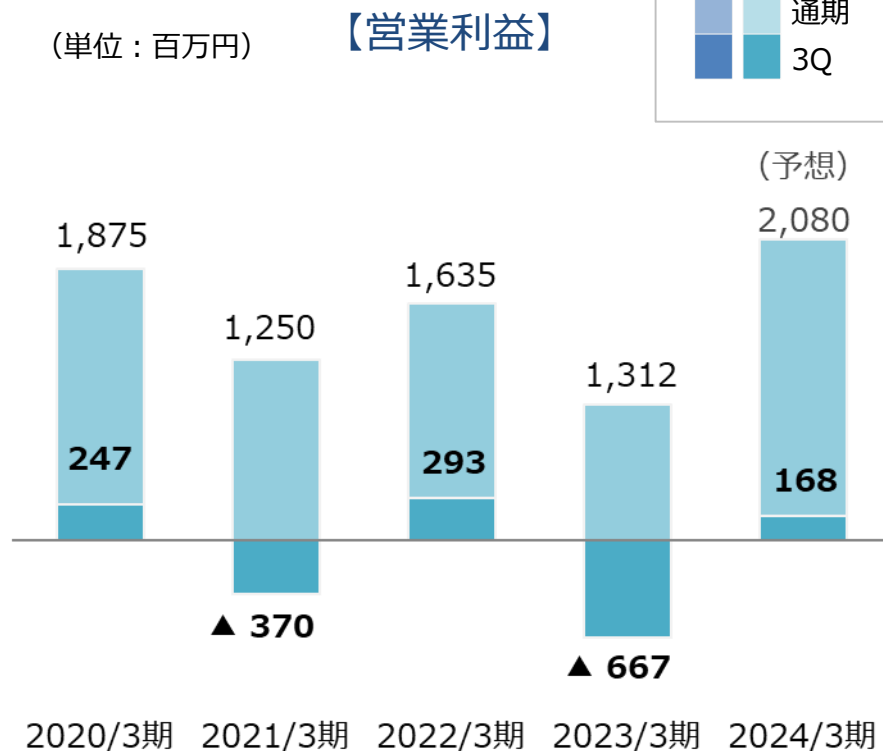
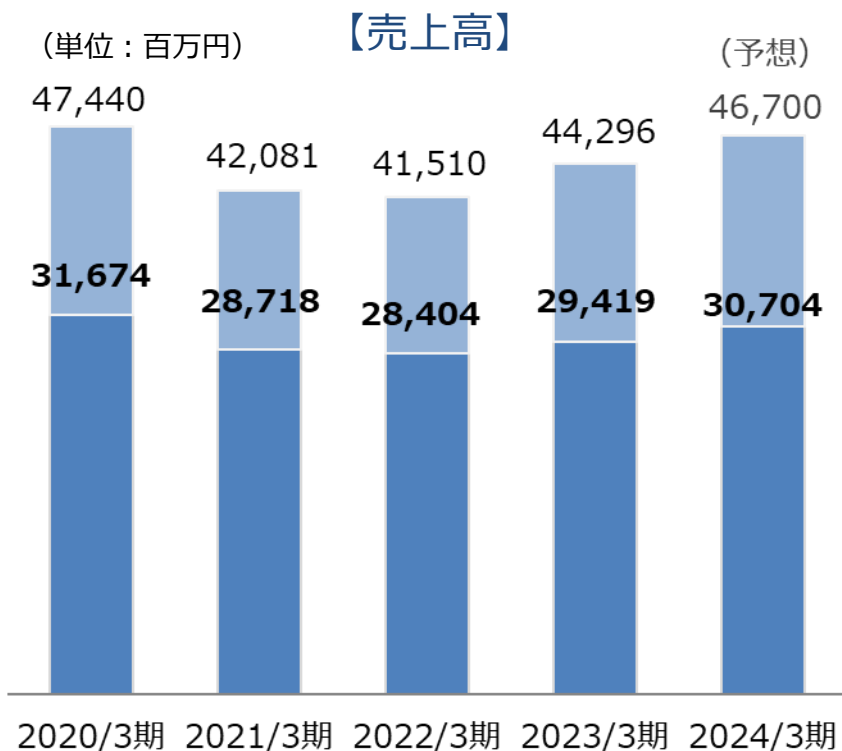


新工場棟（防衛管理棟）の完成イメージ

ご参考資料

- 第3四半期 連結損益の推移
- セグメント別 第3四半期売上高・営業利益 推移
- 四半期 売上高・営業利益 推移
- セグメント別 四半期売上高・営業利益 推移
- 四半期 受注残高推移

第3四半期 連結損益の推移

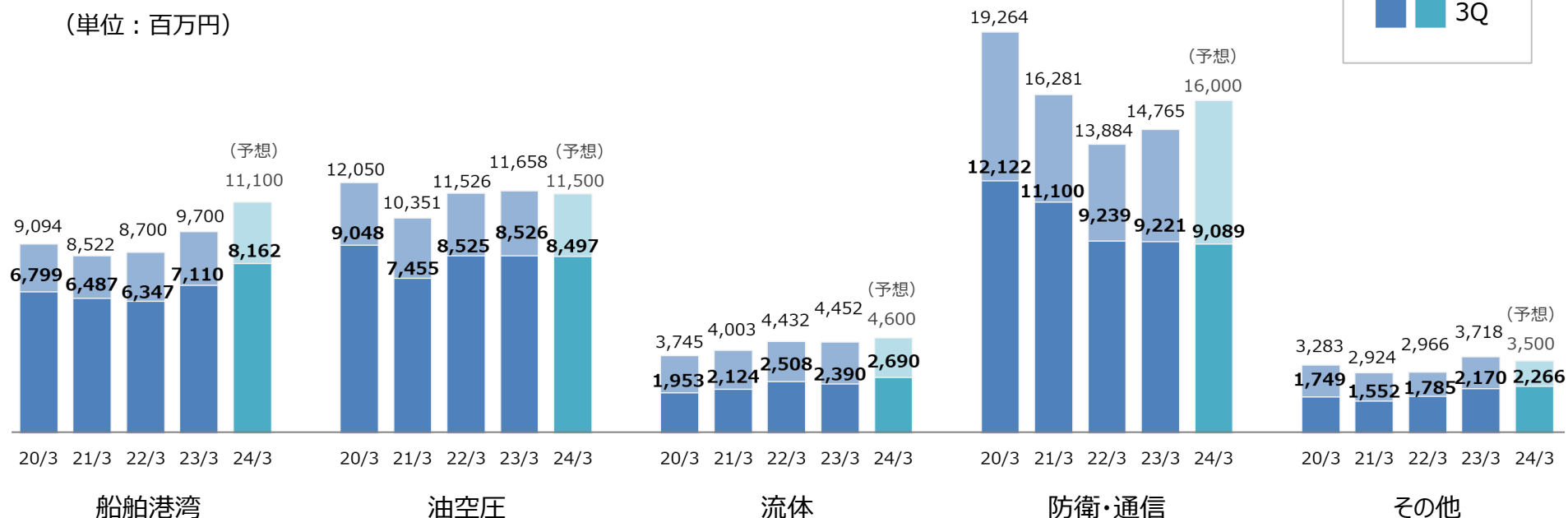


単位： 百万円	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (増減率)
売上高	31,674	28,718	28,404	29,419	30,704	+1,285	+4.4%
営業利益	247	▲370	293	▲667	168	+835	-
経常利益	362	▲194	577	▲281	346	+627	-
四半期純利益	262	▲137	507	▲179	118	+296	-

※四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益

セグメント別 第3四半期売上高推移

(単位：百万円)

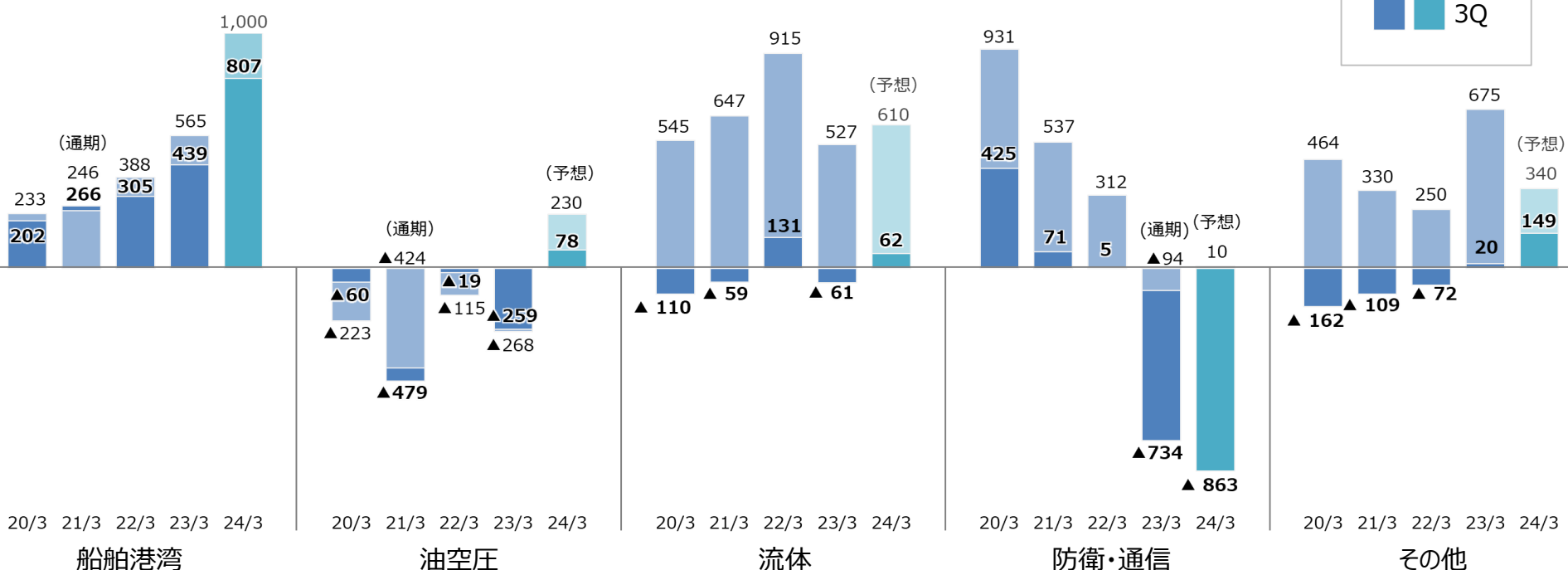


単位： 百万円	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (増減率)
船舶港湾	6,799	6,487	6,347	7,110	8,162	+1,052	+14.8%
油空圧	9,048	7,455	8,525	8,526	8,497	▲29	▲0.3%
流体	1,953	2,124	2,508	2,390	2,690	+300	+12.6%
防衛・通信	12,122	11,100	9,239	9,221	9,089	▲132	▲1.4%
その他	1,749	1,552	1,785	2,170	2,266	+96	+4.4%

※数値は調整前売上高

セグメント別 第3四半期営業利益推移

(単位：百万円) (予想)

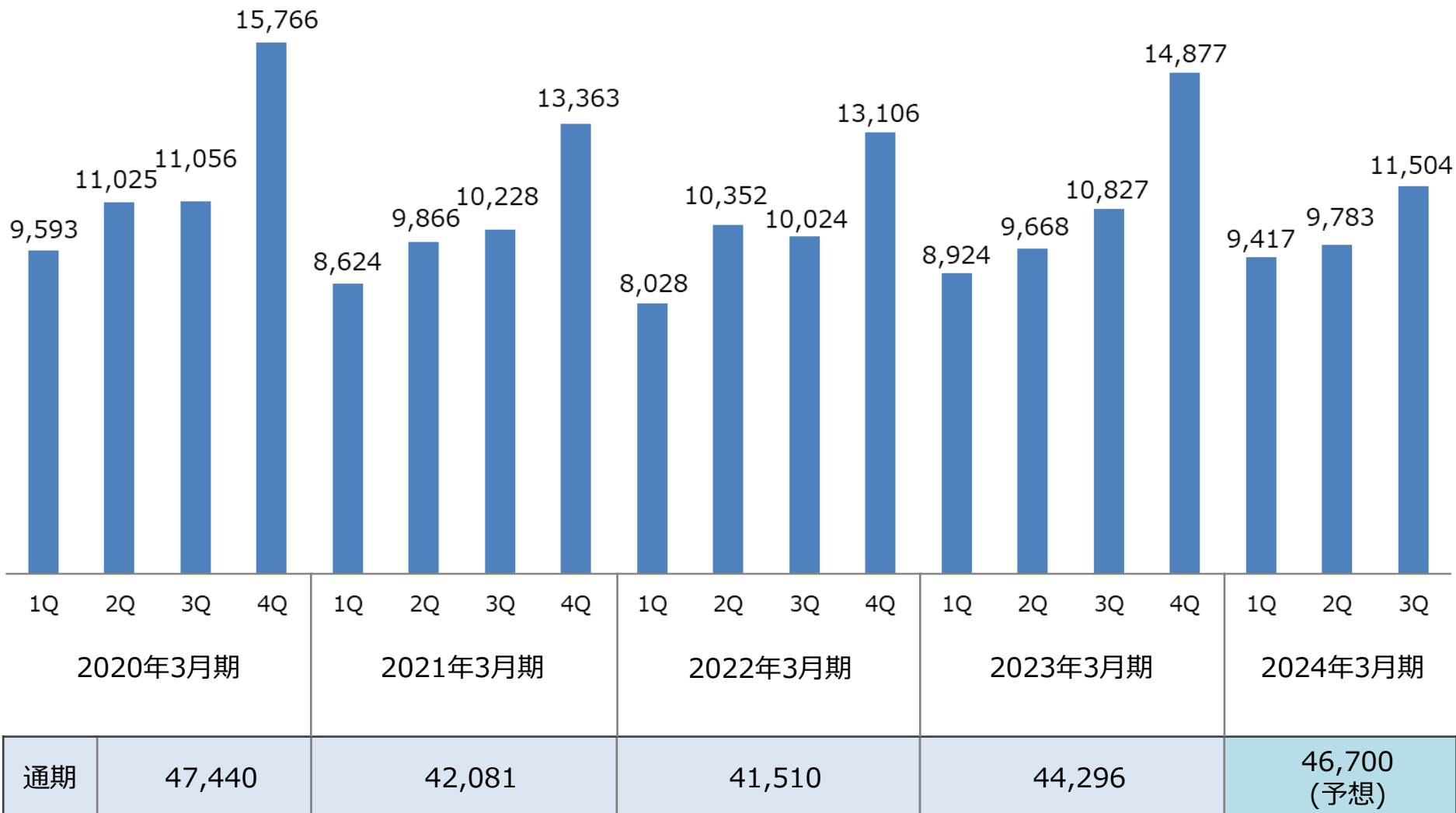


単位： 百万円	2020年3月期 第3四半期	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	2024年3月期 第3四半期	前年同期比 (増減額)	前年同期比 (増減率)
船舶港湾	202	266	305	439	807	+367	+83.7%
油空圧	▲60	▲479	▲19	▲259	78	+337	—
流体	▲110	▲59	131	▲61	62	+123	—
防衛・通信	425	71	5	▲734	▲863	▲128	—
その他	▲162	▲109	▲72	20	149	+129	+655.9%

※数値は調整前営業利益

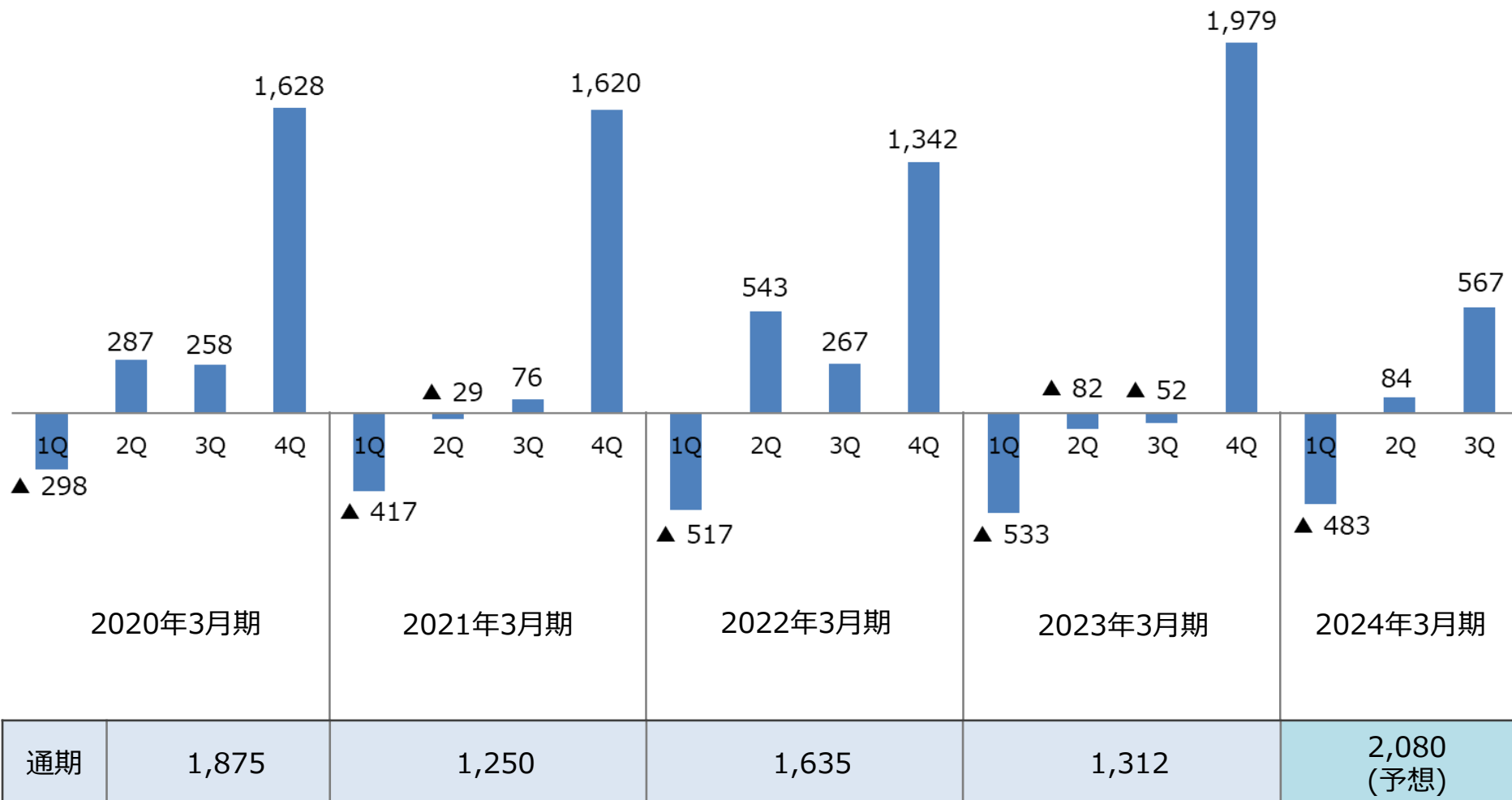
四半期 売上高推移

(単位：百万円)



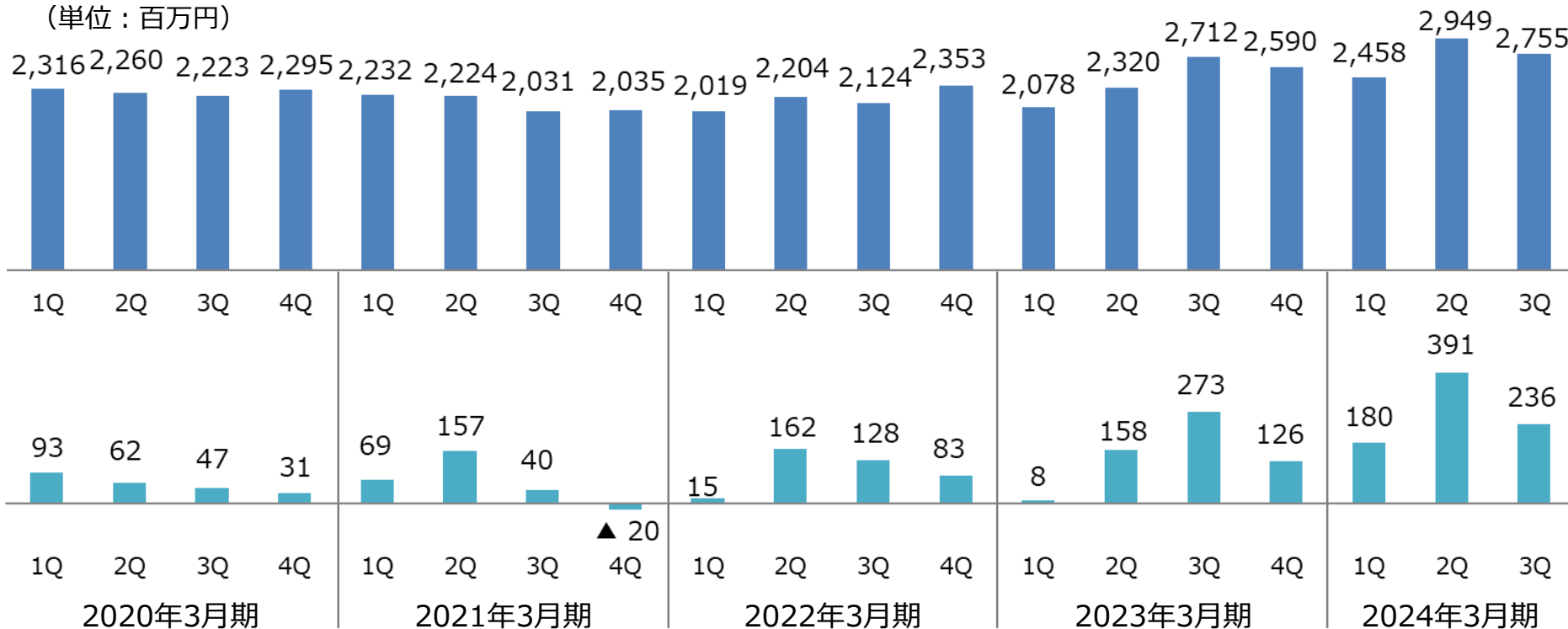
四半期 営業利益推移

(単位：百万円)



セグメント別 四半期売上高・営業利益推移【船舶港湾】

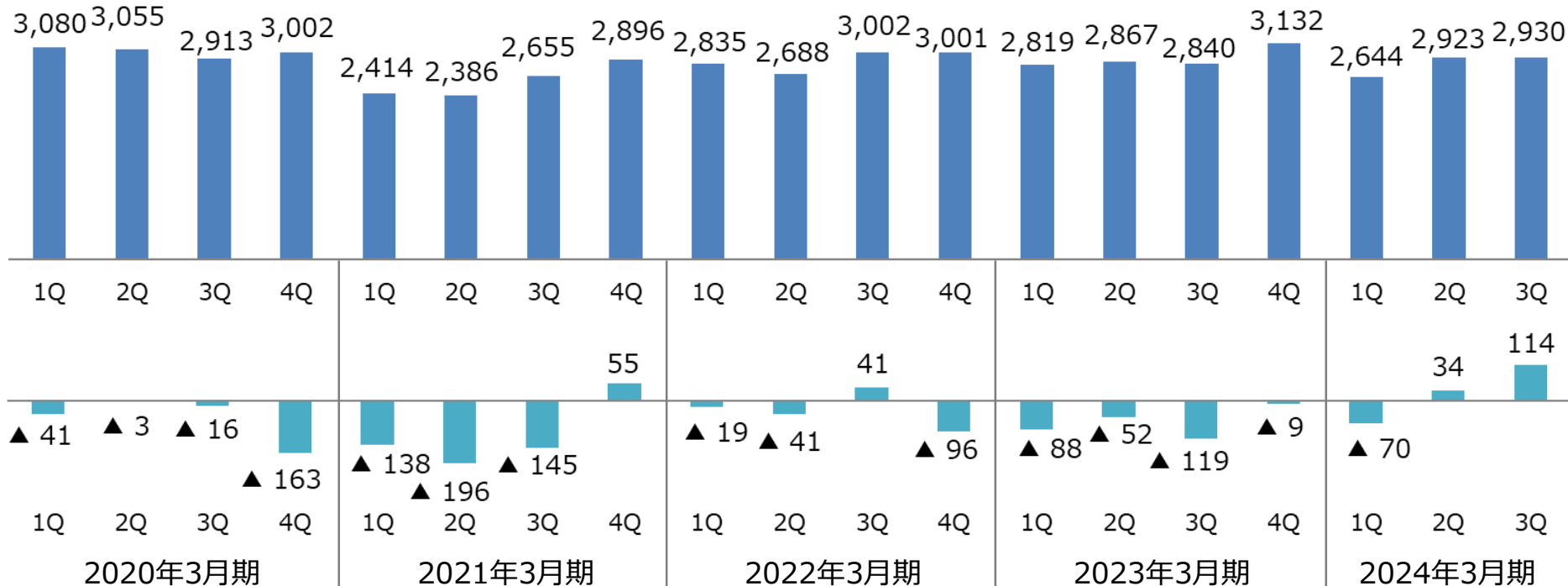
(単位：百万円)



	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	2,316	93	2,232	69	2,019	15	2,078	8	2,458	180
2Q	2,260	62	2,224	157	2,204	162	2,320	158	2,949	391
3Q	2,223	47	2,031	40	2,124	128	2,712	273	2,755	236
4Q	2,295	31	2,035	▲20	2,353	83	2,590	126		
通期	9,094	233	8,522	246	8,700	388	9,700	565		

セグメント別 四半期売上高・営業利益推移【油空圧】

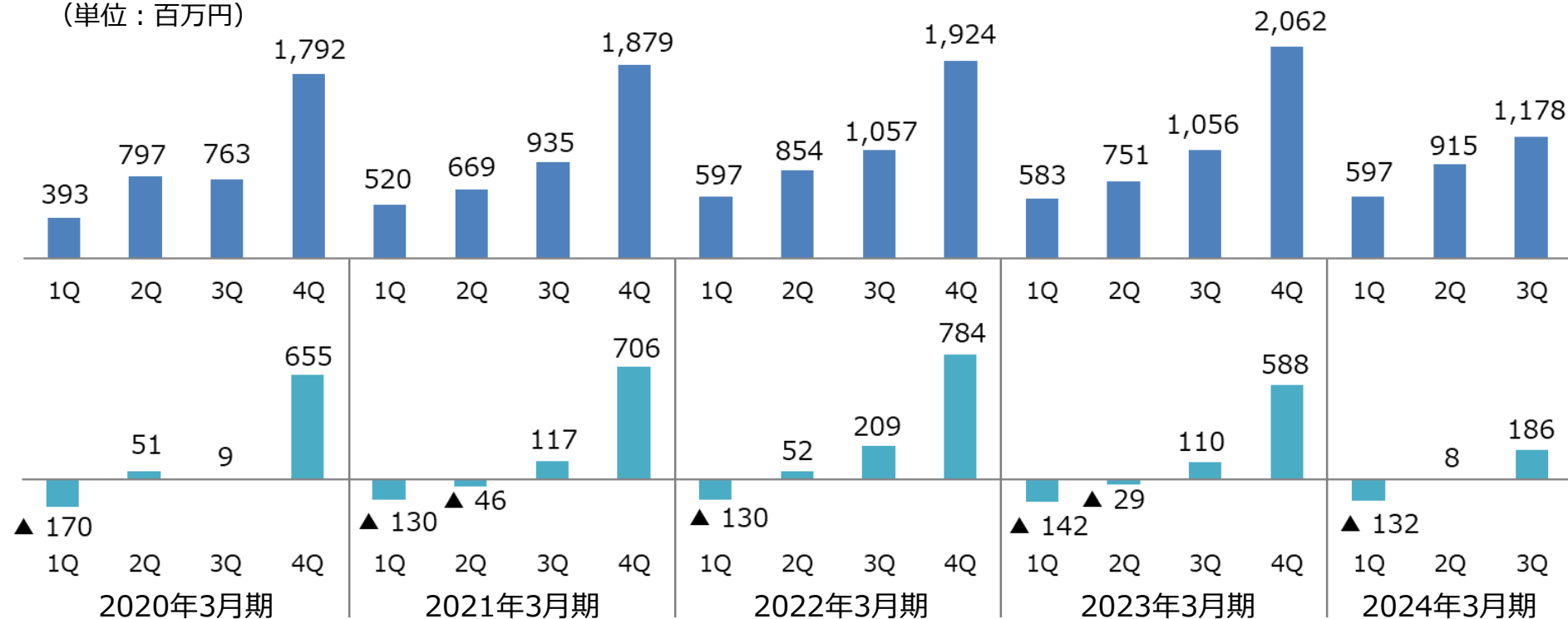
(単位：百万円)



	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	3,080	▲41	2,414	▲138	2,835	▲19	2,819	▲88	2,644	▲70
2Q	3,055	▲3	2,386	▲196	2,688	▲41	2,867	▲52	2,923	34
3Q	2,913	▲16	2,655	▲145	3,002	41	2,840	▲119	2,930	114
4Q	3,002	▲163	2,896	55	3,001	▲96	3,132	▲9		
通期	12,050	▲223	10,351	▲424	11,526	▲115	11,658	▲268		

セグメント別 四半期売上高・営業利益推移【流体】

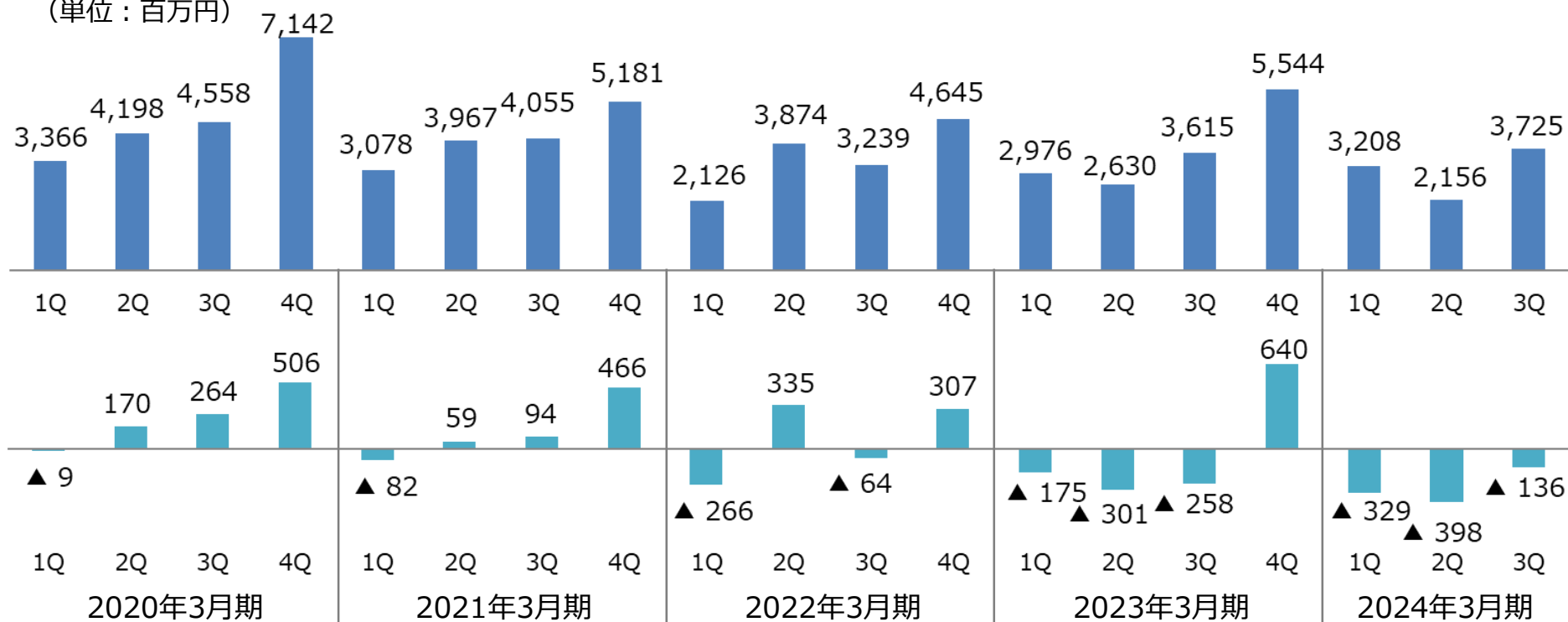
(単位：百万円)



	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	393	▲170	520	▲130	597	▲130	583	▲142	597	▲132
2Q	797	51	669	▲46	854	52	751	▲29	915	8
3Q	763	9	935	117	1,057	209	1,056	110	1,178	186
4Q	1,792	655	1,879	706	1,924	784	2,062	588		
通期	3,745	545	4,003	647	4,432	915	4,452	527		

セグメント別 四半期売上高・営業利益推移 【防衛・通信】

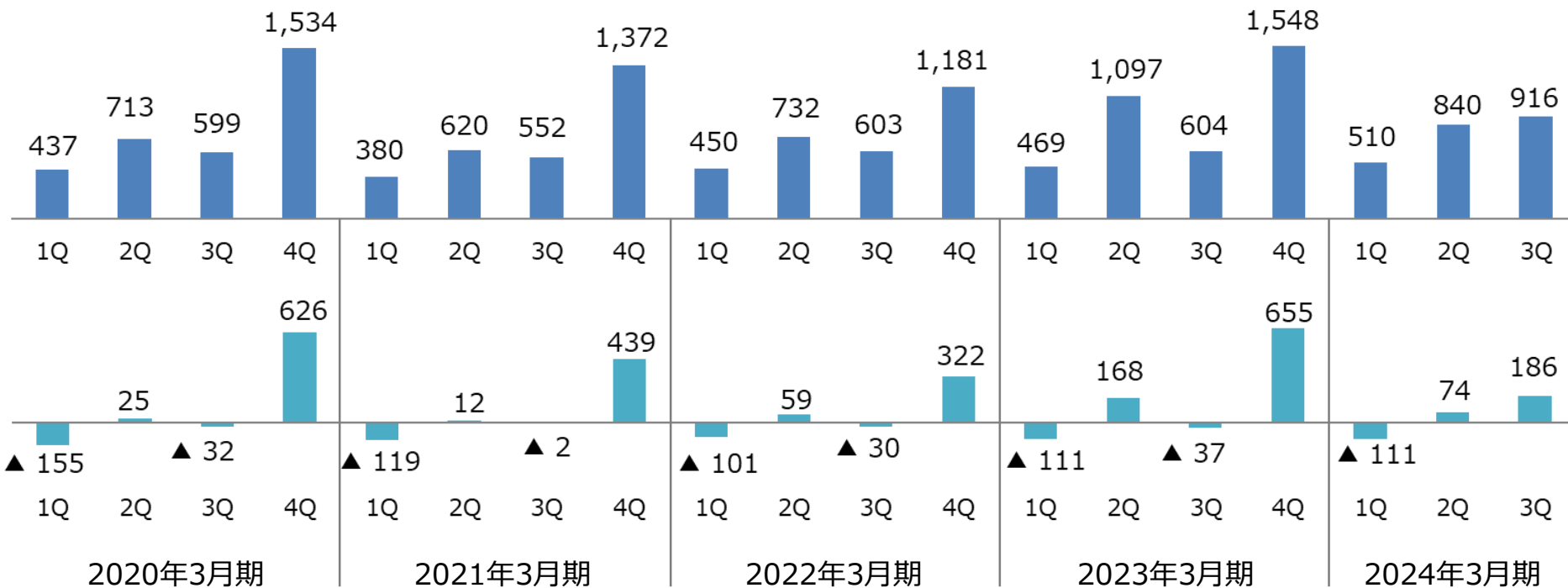
(単位：百万円)



	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	3,366	▲9	3,078	▲82	2,126	▲266	2,976	▲175	3,208	▲329
2Q	4,198	170	3,967	59	3,874	335	2,630	▲301	2,156	▲398
3Q	4,558	264	4,055	94	3,239	▲64	3,615	▲258	3,725	▲136
4Q	7,142	506	5,181	466	4,645	307	5,544	640		
通期	19,264	931	16,281	537	13,884	312	14,765	▲94		

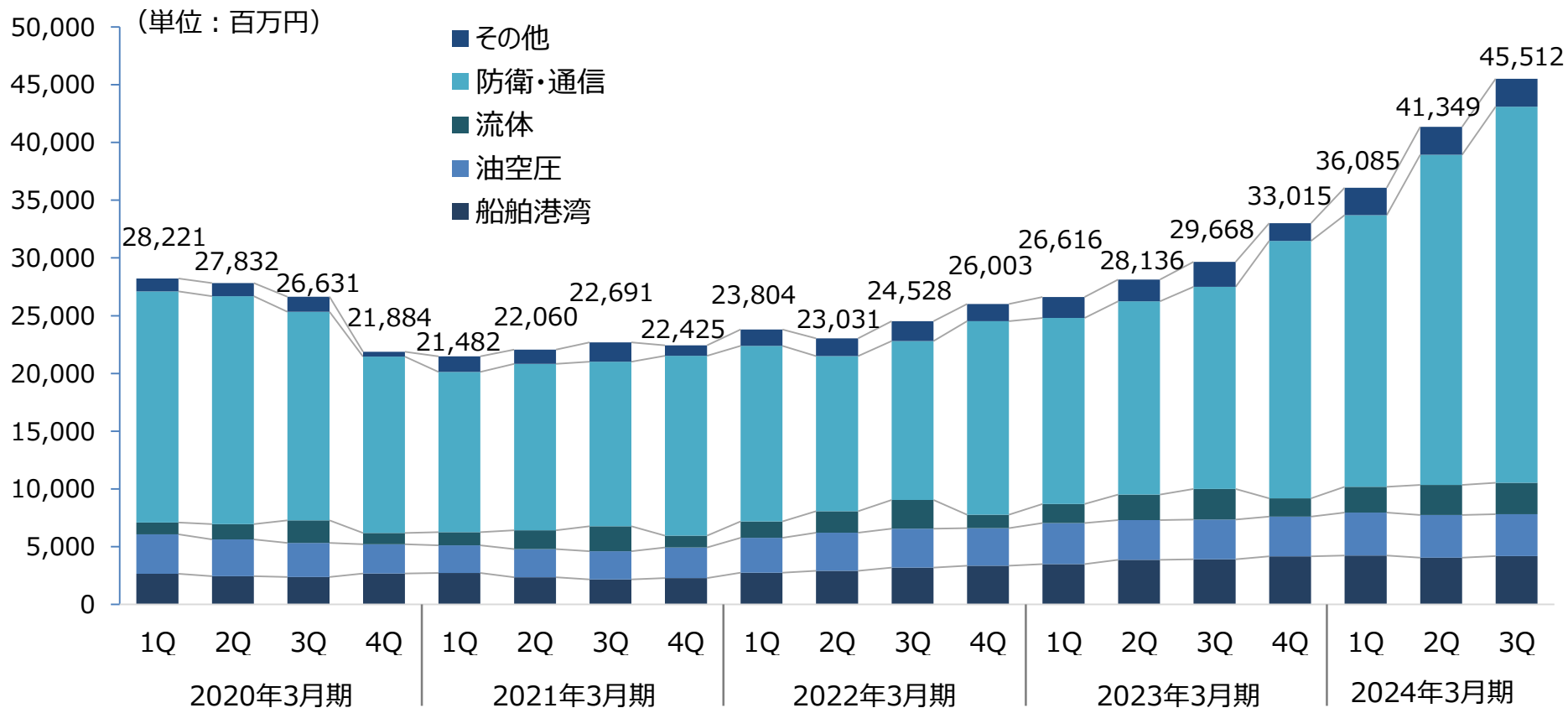
セグメント別 四半期売上高・営業利益推移 【その他】

(単位：百万円)



	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
1Q	437	▲155	380	▲119	450	▲101	469	▲111	510	▲111
2Q	713	25	620	12	732	59	1,097	168	840	74
3Q	599	▲32	552	▲2	603	▲30	604	▲37	916	186
4Q	1,534	626	1,372	439	1,181	322	1,548	655		
通期	3,283	464	2,924	330	2,966	250	3,718	675		

四半期 受注残高推移



(百万円)	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
1Q	28,221	21,482	23,804	26,616	36,085
2Q	27,832	22,060	23,031	28,136	41,349
3Q	26,631	22,691	24,528	29,668	45,512
4Q	21,884	22,425	26,003	33,015	

セグメント別 四半期 受注残高推移 一覧表

(百万円)		2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
船舶港湾	1Q	2,671	2,729	2,747	3,502	4,246
	2Q	2,449	2,355	2,923	3,860	4,050
	3Q	2,382	2,161	3,185	3,919	4,190
	4Q	2,676	2,277	3,348	4,164	
油空圧	1Q	3,397	2,400	3,022	3,547	3,713
	2Q	3,186	2,434	3,281	3,458	3,695
	3Q	2,951	2,462	3,370	3,424	3,638
	4Q	2,547	2,659	3,260	3,439	
流体	1Q	1,032	1,124	1,432	1,652	2,239
	2Q	1,312	1,643	1,864	2,207	2,596
	3Q	1,948	2,144	2,488	2,650	2,705
	4Q	963	1,015	1,153	1,593	
防衛・通信	1Q	20,008	13,888	15,182	16,096	23,510
	2Q	19,735	14,389	13,448	16,726	28,598
	3Q	18,063	14,256	13,773	17,497	32,555
	4Q	15,268	15,571	16,775	22,269	
その他	1Q	1,114	1,342	1,421	1,820	2,377
	2Q	1,149	1,239	1,515	1,885	2,410
	3Q	1,286	1,670	1,712	2,179	2,424
	4Q	430	903	1,467	1,550	



H₂

東排
京戦
計器
を
も
つ
た
ら
な
い

お問い合わせ先

担当 東京計器株式会社
コーポレート・コミュニケーション室

TEL 03-3730-7013

URL www.tokyokeiki.jp